

# このいのち輝け

2012年3月 発行  
社会福祉法人 よさのうみ福祉会  
みやづ作業所・伊根の里  
すまいる・ホームすみれ  
発行責任者 荒川 俊宏  
宮津市宮村1604 ☎0772-22-7254

## この街で暮らしたい!

### 生まれ育ったこの街で!

7人の方が入居をされています。車椅子の方でも利用ができるようにエレベーターを設置しています。

ケアホームすみれ  
宮津市惣



ケアホームあかつき荘  
宮津市滝馬



ケアホームあじさい  
宮津市宮本



共同生活介護事業(ケアホーム)  
共同生活援助事業(グループホーム)

## ホームすみれ

4人の方が入居をされています。宮津市の中心にあり、コンビニまで徒歩3分・立地条件バツグンです。

1996年に開所をしてから18年がたちました。一番歴史のあるホームです。5人の方が利用をされています。



ケアホームさくら草  
宮津市本町

本町の「リサイクルショップすまいる」の2階がケアホームさくら草です。4人の方が入居をされていて、ショップの賑わい同様、元気一杯の利用者の皆さんばかりです。



ケアホームもくれん  
宮津市京口

昨年1月に開設したばかりの一番新しいホームです。三階建てのきれいな建物で4人の方が入居をされています。

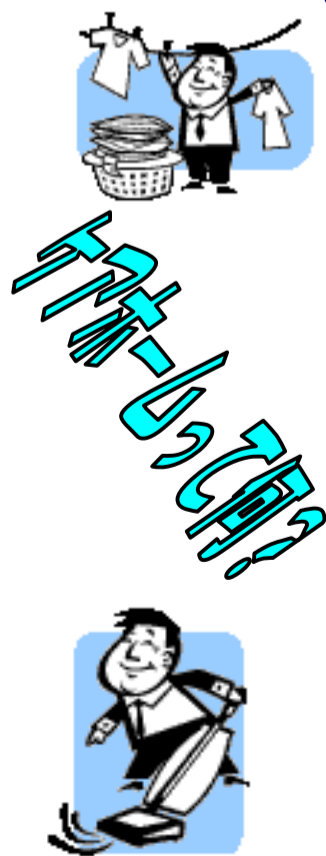
「この街で暮らしたい!生まれ育ったこの街で!」この想いを大切にしながら、今後も地域に根ざした生活づくりを目指していきたいと思えます。

現在障害のある人達の生活を支えていく上で、ケアホームはなくてはならないものになっていきます。また五年後、十年後を想像したときに、ケアホームに入居がしたいという希望は益々増加していく事が予想されます。残念ながら今はそれに応えられないだけの社会資源がありません。橋北地域や伊根町には1ヶ所もケアホームが無い現状です。利用者や親の願いとして「伊根町にケアホームを!」という要望や開設に向けた動きも出てきています。

なぜケアホームは必要なのでしょう。生まれ育った住み慣れた地域で暮らしたいと思うことは、当然のねがいです。障害があることや、家族の高齢化等により、いろんな支援がないと自宅での生活や、一人暮らしが困難な方が多くおられます。「遠くの施設には行きたくない。でも宮津には入所施設はない。だけど地域で暮らしたい...」そんな思いにこたえるべく、ホームすみれはスタートしました。

宮津市にはよさのうみ福祉会が運営するケアホームが5カ所あり、その総称を『ホームすみれ』としています。24年2月現在で全体で24名の方が利用をされています。日中は宮津市内の障害福祉事業所や一般就労をしながら、自分の思い描く生活スタイルの実現に向け夢を持って生活をされています。

ケアホームとは、障害のある方数名がキーパー(世話人と呼ばれる職員)の支援(食事の提供、困りごとの相談、利用者の体調管理など)を受け生活をする場所のことです。利用者の皆さんが自立した生活を送り、地域のなかで共同して生活を営むことができるような支援をしていくことを目指しています。



# 要望懇談会開催(宮津・伊根地域)

去る1月17日(火)、みやづ作業所において、宮津市から福祉担当者3名の方に来ていただき要望懇談会を開催することが出来ました。この要望懇談会は、みやづ作業所・すまいる・伊根の里を利用する利用者の方々から普段、地域で生活して行く上で困っていること、不便に感じていることを出し合い、それぞれの自治会のリーダーが集まり話し合いをし、まとめあげたものです。一つ一つがどれも大切に切実な利用者の方々の要望です。安心して地域で暮らせるように願いを込めて要望書をまとめました。

懇談会当日は、とても和やかで、利用者の方々から自分の思いを次々と発言されました。又自分で上手く伝えられない利用者の方が、職員に思いを伝えてもらい発言される場面もありました。中には、自分の思いを伝えたくて宮津市の方に握手を求めに行く場面もあり、利用者の思いや、真剣な気持ちを伝えることができました。

また、貴重な時間をさいて来ていただいた宮津市役所の方々からも一つ一つ丁寧に回答していただき、利用者の思いや、意見を聴いていただいた事に感謝しています。これからも利用者の方々の、「思い・願い」を聴いていただける場として引き続き、宮津市との要望懇談会を開催して行いたいと思います。

## 私たちの要望です

- ①ヘルパーを利用しやすく使えるようにしてください。
- ②宮津駅バス停の屋根を直して下さい(雨が吹き込むので)。
- ③宮津市の行事(障害者が参加できる)を増やして下さい。
- ④宮津市立図書館を使いやすくして下さい。
- ⑤宮津市からの災害時の放送が聞こえにくく不安です。障害者にとって解りやすく安心できるような装置の設置をお願いします。
- ⑥給食費の補助を出して下さい。
- ⑦橋北にもホームを建てて下さい。



自分の言葉で思いを発言



しっかりと受けとめていただきました

## 伊根町でも懇談会開催

伊根の里の利用者全員の思いによる要望書を伊根町に提出しました。要望書提出に伴い伊根町より昨年10月4日に伊根町町長並びに住民生活課課長、福祉係担当者に来訪いただき「要望書回答懇談会」を持つことが出来ました。

リーダー会が中心になり司会等役割分担も利用者同士の相談で決め、利用者の皆さんが真剣に思いや願いを伝えられ、伊根町としても前向きに検討して下さるとの回答を頂きました。特にホームについては色々と質問をしていただき、伊根町としても考えなければという思いをしっかりと抱いて貰う事が出来たのではないかと思います。その他にも、給食利用料補助のお願い、裏庭のぬかるみの問題、災害時避難場所の整備のお願いなど利用者が抱える問題を丁寧に聴いていただき、和やかで有意義な懇談会となりました。

利用者の皆さんのニーズをまずは知ってもらうという「懇談会」形式の意義や大切さを皆で再認識できた1日でした。

## ストックヤードが 新しくなります

みやづ作業所は「平成二十三年9月に障害者自立支援法にもとづいて事業移行を行い、就労継続支援(B型)事業、生活介護事業の2つの事業でスタートしました。」リサイクル事業の拡大を計画しています。今まで多くの地域の皆様に持ち込んでいただいています。簡易的なテントも、足場の悪さや耐久性、容量の問題から、事業の拡大に対応することが大変難しい状況になっています。そこで現在、新たにみやづ作業所に隣接する土地に段ボール・新聞・雑誌・アルミ缶の収集場(ストックヤード)の建設をしています。

工事に際しまして何かとご迷惑をおかけしております。春には完成予定ですので、これまでと同様よろしくお願ひします。

## 編集を終えて

またまた大学生の娘の話。2月の誕生日に帰省した。焼肉が食べた！と要望をしてきた。二人で準備の買い物をした。父と娘故いろいろあったが、家を離れてからの関係の方が良いような気がする。◆それにしてもこの3月、授業はない、バイトもしてない、したがってお金もない、親の心配をよそにいったい何をして過ごしていることやら。彼女が持っているものは時間、若さ、友達、それにニーズ(要望・希望・夢)。これだけあれば世の中何とかなる。

